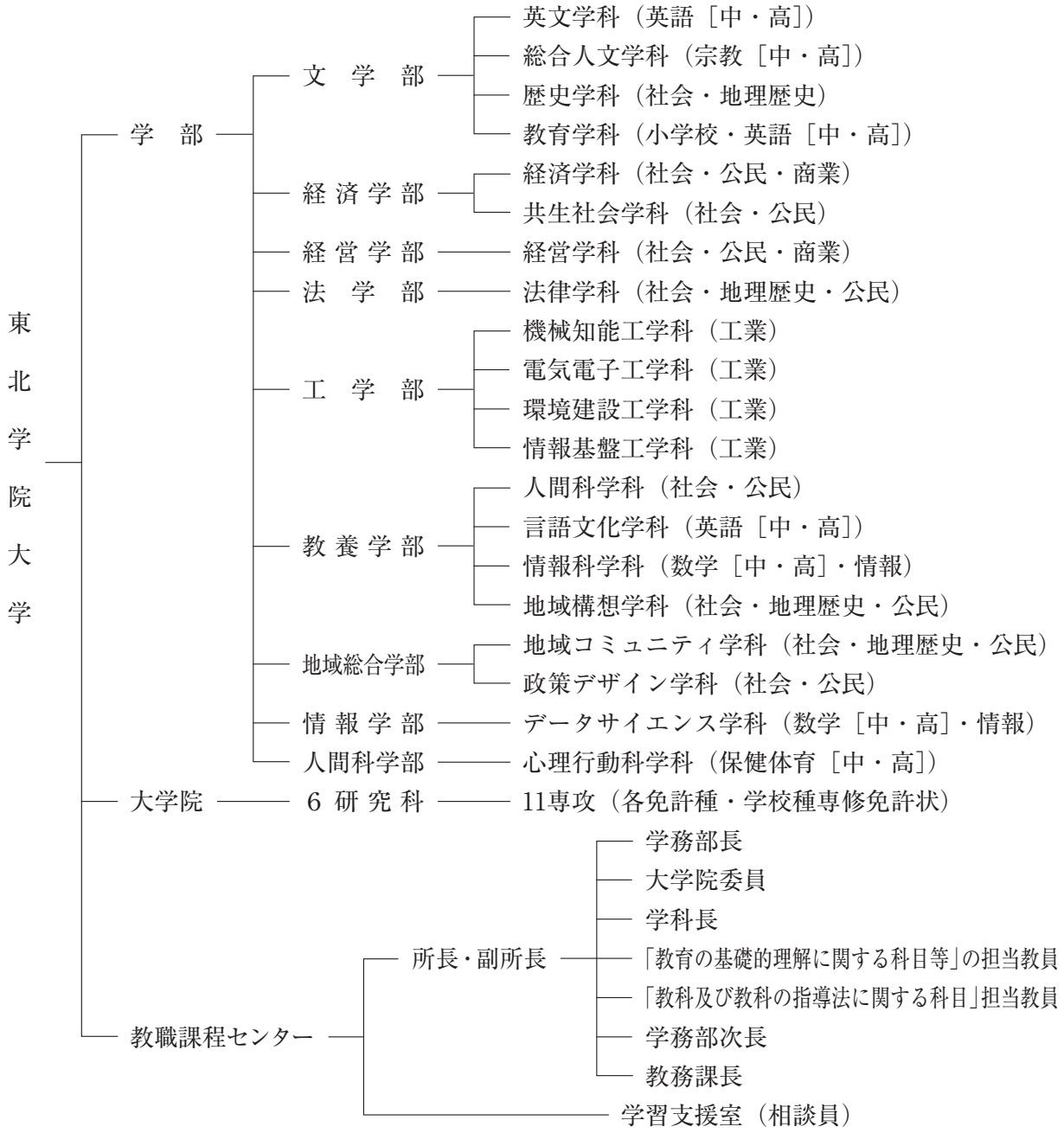
2．本学における教員養成教育の組織（と教育）について

（1）教員養成教育の組織

東北学院大学は、学務部長、「教育の基礎的理解に関する科目等」の担当教員、「教科及び教科の指導法に関する科目」担当教員および各学科長等から構成される教職課程センターを全学組織として設置しています。本学は同センターを中心に各学科に設置された教職課程を運営し、全学的な支援のもとで教員養成教育に当たっています。その組織図は以下の通りです。



また、教職課程センターは教職を目指す学生の学習を支援する機能を併せもっています。同センターでは、相談員による教職相談や学習支援、学外の各機関との連携を通じた教員採用や学校ボランティア等に関する情報収集・提供等の活動により、正規カリキュラム外での教員養成教育も行っています。

なお教職課程センターの詳細については、東北学院大学ホームページをご覧ください。

（2）教員養成教育にあたる教員

【専　任】

氏　　名	石　田　弘　隆
所　　属	情報学部　データサイエンス学科
学　　位	博士（理学）
主な教育研究上の業績	石田弘隆，佐藤　篤　（2021）「GeoGebraとZoomによるオンタイム演習の試み」統計数理研究所共同研究リポート449 石田弘隆，西澤由輔　（2018）「数学科目におけるWebclassを用いたCBTの実施」『宇部工業高等専門学校研究報告』第64号　19–25
主な担当科目	「数学科教育法（応用）」「教育実習Ⅰ・Ⅱ（数学）」

氏　　名	泉　山　靖　人
所　　属	地域総合学部　地域コミュニティ学科
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	大迫章史・中島夏子・泉山靖人　（2021）「私立大学における教員養成と教員育成指標・教職課程コアカリキュラム　東北地方を事例として」一般社団法人全国私立大学教職課程協会編集委員会編『教師教育研究』第31号，東信堂，45–65頁 泉山靖人　（2019）「第５章　教育に関する法規」紺野　祐ほか編著『教育の原理：子供・学校・社会をみつめなおす』学術出版会，99–121 泉山靖人　（2015）「指定管理者制度を通じた地方自治体とNPOの協働――川崎市およびNPO法人フリースペースたまりばの関係に着目して――」科学研究費補助金研究成果報告書『子ども・青少年育成活動における自治体行政とNPOの協働に関する日英比較研究　研究成果報告書』98–116 泉山靖人　（2013）「専門職制の強化と市民協働」日本教育制度学会編『現代教育制度改革への提言　下巻』東信堂，112–127
主な担当科目	「教育の制度と経営」「教職実践演習（中・高）」

氏　　名	一　柳　貴　博
所　　属	地域総合学部　地域コミュニティ学科
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	一柳貴博・下山晴彦　(2024)「関係形成を支援するICT活用」小原　豊・北島茂樹編著『未来を拓くICT教育の理論と実践』東洋館出版社，146-149 一柳貴博　(2021)「周囲児は自閉スペクトラム症が疑われる児童にどのように関わっているのか――小学校教諭から見た周囲児の行動メカニズム――」『教育心理学研究』第69巻第１号，日本教育心理学会，79-94 一柳貴博　(2020)「発達障害児・者に対する態度と接触時期・頻度・内容との関連」『障害理解研究』第21号，日本障害理解学会，15-28
主な担当科目	「特別支援教育論」「教育心理学」「教職実践演習（中・高）」

氏　　名	稲　垣　　忠
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（情報学）
主な教育研究上の業績	稲垣　忠ほか２名による編著　令和７年(2025)　生成AIとデザインする！情報活用型プロジェクト学習ガイドブック3.0，明治図書出版　152p 稲垣　忠ほか６名による共著　令和６年(2024)　初等中等教育における現代の教育ニーズに対する学習環境研究の動向，日本教育工学会論文誌　47(4)　567-578 稲垣　忠ほか４名による共著　令和５年(2023)　探究と個別最適な学びをつなぐ学習環境の構築と評価，教育メディア研究　29(2)　43-55 稲垣　忠ほか３名による共著　令和４年(2022)　教育実践においてDXが果たす役割，日本教育工学会論文誌　45(3)　273-281
主な担当科目	「教育の方法と技術」「ICT活用の理論と方法」「教職実践演習」

氏　　名	大　門　耕　平
所　　属	文学部　総合人文学科
学　　位	博士（学術），修士（神学）
主な教育研究上の業績	大門耕平，藤井　航，池田恵美子　(2024)「LGBTQ 教育が中学生に与える効果についての研究」『東北学院大学キリスト教文化研究所紀要』東北学院大学キリスト教文化研究所，42 大門耕平　(2024)「幼児期の宗教教育の経験が中学生の自己肯定感・ソーシャルスキル・道徳性の発達に及ぼす影響についての研究」『人文学と神学』(21)，東北学院大学学術研究会 坂井武司，大門耕平，赤井秀行，石坂広樹　(2024)「数学科における発展的な学習に関する研究」『鳴門教育大学国際教育協力研究』鳴門教育大学教員教育国際協力センター編(17) 大門耕平，宇多川千帆　(2022)「中学校期における道徳性の発達的傾向を測定する尺度の開発」「宗教と社会」学会機関誌第28号，17-31 大門耕平　(2018)「宗教教育が内包する学生への道徳教育的効果を評価するための尺度の開発」基督教研究，第80号　第２号，同志社大学神学部，49-68
主な担当科目	「キリスト教教育Ⅰ・Ⅱ」「宗教科教育法（概論）」 「宗教科教育法（理論）」「宗教科教育法（実践）」 「宗教科教育法（応用）」「教育実習Ⅰ・Ⅱ（宗教）」

氏　　名	大　迫　章　史
所　　属	地域総合学部　地域コミュニティ学科
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	大迫章史　「第５章　日本の教育制度と思想の歴史」広岡義之／熊田凡子編著『新しい教育原理（新版）』ミネルヴァ書房，2024年，78-94頁 大迫章史　「広島県における教育研究所の設立と展開」東北学院大学学術研究会『東北学院大学教養学部論集』第190号，2022年，1-22頁 大迫章史・中島夏子・泉山靖人　「私立大学における教員養成と教員育成指標・教職課程コアカリキュラム　東北地方を事例として」一般社団法人全国私立大学教職課程協会編集委員会編『教師教育研究』第31号，2021年，東信堂，45-65頁 大迫章史　「総力戦体制下におけるカトリック高等女学校のキリスト教教育」日本カトリック教育学会『カトリック教育研究』第37号，2020年，13-23頁
主な担当科目	「教育課程論」「現代教職論」

氏　　名	大　友　麻　子
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（国際文化）
主な教育研究上の業績	大友麻子　（2025）「『にじいろのさかな』の日米指導観比較分析――教材研究における複眼的視点の構築――」The LCA Journal. 29. pp. 17–35. 大友麻子　（2022）「学習指導要領の目標と英語絵本」『東北学院大学教育学科論集』４，pp. 69–79. 大友麻子　（2019）「英語音声への気づきを促すための一試案」『東北学院大学文学部教育学科論集』１，pp. 57–72. 大友麻子　（2018）「英語コミュニケーション能力の高め方――多読・多聴による理解力向上」村野井仁編『コアカリキュラム準拠　小学校の英語教育の基礎知識』pp. 118–126. 東京：大修館書店. 上白石実・大友麻子・新沼史和・藤原正義　（2018）「教職実践演習（中･高）の取り組みと課題」『盛岡大学盛岡大学短期大学部教職研究』１，pp. 91–98.
主な担当科目	「教育英語学概論」「英語科教育法（実践）」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」

氏　　名	加　藤　　卓
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	KATO Takashi (2024) “A STUDY ON NEW EDUCATIONAL CONTENT AND LESSONS ON IDENTIFYING THE NETS OF CUBE IN THE HEXOMINOES”, The 15th International Congress on Mathematical Education (Sydney, 7–14 July, 2024), Unpublished 加藤　卓ほか　（2021）『教科力シリーズ　改訂第２版　小学校算数』９章「図形と論理　３（論理）」玉川大学出版部，105–118 加藤　卓ほか　（2020）『教育現場で役立つ情報リテラシー』３章「Excel ～会計処理文書の作成・成績処理」実教出版，48–111 TAKASHI KATOU, (2020) “Effects of diagrams showing relationships between variables in solutions to problems concerning Speed.” GDM-Onlinetagung 2020 (OlTa) (Übertragung zum GDM 2019 an der Universität Regensburg), Beitrage zum Mathematikunterricht 2020, PP481–484 加藤　卓ほか　（2019）『教科指導法シリーズ　改訂第２版　小学校指導法　算数』９章「変化と関係」玉川大学出版部，159–183
主な担当科目	「算数概説」「初等教科教育法（算数）」「ICT教育実践」

氏　　名	紺　野　　祐
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	紺野　祐　(2024)「教育基本法第一条「教育の目的」に関する一考察：その解釈の歴史を踏まえて」『東北学院大学教育総合研究所報告集』第24集，東北学院大学教育総合研究所，49–70 紺野　祐　(2023)「『教育』の定義の分析と再構築に関する研究(4)」『東北学院大学教育学科論集』第５号，東北学院大学学術研究会，11–33 紺野　祐　(2022)「『教育』の定義の分析と再構築に関する研究(3)」『東北学院大学教育学科論集』第４号，東北学院大学学術研究会，31–52 紺野　祐・盛下真優子　(2021)「道徳教育における『価値』と『価値観』について(1):『価値』『価値観』概念の混乱を解く」『東北学院大学教育学科論集」第３号，東北学院大学学術研究会，13–28
主な担当科目	「教育基礎論」「道徳教育の理論と方法」「教職実践演習（小・中・高)」

氏　　名	坂　本　泰　伸
所　　属	情報学部　データサイエンス学科
学　　位	博士（学術）新潟大学
主な教育研究上の業績	１．高等学校教科「情報Ｉ」における指導上の課題に関する調査結果の報告，坂本泰伸，稲垣　忠，沼田織花，東北学院大学教養学部論集第189号，2022年３月 ２．学校教科「情報Ｉ」指導上の課題抽出を目的としたアンケート帳票の開発と集計結果に関する報告，坂本泰伸，稲垣　忠，沼田織花，人間情報学研究第27巻，東北学院大学，2022年３月 ３．The Development of New e-learning Cycles based on the Aggregated Highlighting Information, Okada Takeshi and Yasunobu Sakamoto, 19th European Conference on e-Learning ECEL 2020 (Virtual Conference), Oct. 28–30, 2020 ４．高等学校教科「情報Ｉ」における「モデル化とシミュレーション」の教材開発に向けた調査報告，伊藤千瑛，坂本泰伸，2019年度情報処理学会東北支部研究会，資料番号２－３（全５頁)，東北学院大学，2021年２月
主な担当科目	「情報科教育法（概論・理論)」「情報科教育法（実践・応用)」 「コンピュータと論理Ｂ」

氏　　名	佐　藤　正　寿
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	佐藤正寿　（2024）『社会科授業力アップの成功の極意　学びを深める必須スキル』明治図書，P136 佐藤正寿　（2023）『図解　社会の授業デザイン』明治図書，P128 佐藤正寿　（2020）『社会の授業Q＆A』明治図書，P224 佐藤正寿　（2020）「学級通信の発行に関する教師の意識」，日本学級経営学会『日本学級経営学会誌』第２巻，P9-12 佐藤正寿　（2019）「授業技術」，高橋　純『教育方法とカリキュラムマネジメント』学文社，P72-84 佐藤正寿　（2019）「授業における発問と指示」，堀田龍也・佐藤和紀『情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術』三省堂，P56-71
主な担当科目	「現代教職論」「初等教科教育法（社会）」「学級経営論」 「学級経営・生徒指導実践」

氏　　名	宍　戸　隆　之
所　　属	人間科学部　心理行動科学科
学　　位	博士（医学）
主な教育研究上の業績	宍戸隆之，橋元真央　（2021）「ICT を活用して運動有能感を高める体育の実践研究――小学生の持久走の取り組み――」人間環境学研究，19(1)，51-58. Takayuki Shishido, Kazuko Kashiwagi (2020)「A Reflective Practice for Improving Teacher Students' Abilities in Conducting CLIL in Physical Education Classes in an Overseas Teaching Project」*The Journal of the Japan CLIL Pedagogy Association (J-CLIL)*, 2, 92-109. 宍戸隆之，橋元真央　（2019）「体育の授業におけるICTを活用した実践研究――持久走中の心拍数表示による効果――」人間環境学研究，17(1)，45-50.
主な担当科目	「保健体育科教育法（概論）」「保健体育科教育法（理論）」

氏　　名	清　水　貴　裕
所　　属	地域総合学部　地域コミュニティ学科
学　　位	博士（心理学）
主な教育研究上の業績	黒田祐二・清水貴裕・飯田順子（編著）（2024）『実践につながる教育相談［改訂版］』北樹出版. 黒田祐二・清水貴裕・永作　稔（編著）（2024）『実践につながる生徒指導・キャリア教育』北樹出版. 清水貴裕・大迫章史　（2022）　教職志望学生の教育課程における生徒指導に対するイメージとその変化，東北学院大学教養学部論集，第189号，pp. 117–130. 清水貴裕　（2021）　学齢期におけるインターネットを用いたいじめに関する予備的検討，東北学院大学教養学部論集，第188号，pp. 55–67. 清水貴裕　（2021）「学校不適応」櫻井茂男監修・黒田祐二編著『実践につながる教育心理学［改訂版］』北樹出版，189–206.
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」「生徒指導・進路指導の理論と方法」 「教職実践演習（中・高）」「社会コミュニケーション論」

氏　　名	清　水　　遥
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（言語学）
主な教育研究上の業績	Hamada, A., Shimizu, H., Hoshino, Y., Takaki, S., & Ushiro, Y. (2024). Robust evidence for the simple view of second language reading: Secondary meta-analysis of Jeon and Yamashita (2022). Studies in Second Language Acquisition, 1–18. doi:10.1017/S0272263124000226 清水　遥　（2021）「第１章　英語科の目的・目標　Ｑ４」(pp. 16–17),「第２章　外国語教育の基礎知識・背景的知識　Ｑ９」(pp. 30–33). 卯城祐司・樫葉みつ子（編著）『新・教職課程演習第18巻　中等英語科教育』協同出版 Shimizu, H. & Hoshino, Y. (2019) Sense categorization of polysemy by Japanese EFL learners: The influences of extensive reading. *ARELE*, *30*, 97–112. 星野由子・清水　遥　（2019）「小学校外国語・外国語活動で扱われるカタカナ語――日本語と英語の語義の比較分析を通して――」. *JES Journal*, *19*, 117–127. 清水　遥　（2018）「小学校外国語教育の評価」(pp. 92–105),「クラスルーム・イングリッシュ」(pp. 106–112). 村野井仁（編著）『コア・カリキュラム準拠　小学校英語教育の基礎知識』大修館書店
主な担当科目	「児童英語概説」「初等教科教育法（英語）」「英語科教育法（応用）」

氏　　名	清　多　英　羽
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	清多英羽　(2023)「学校ビオトープを活用した道徳教育に関する一考察」『東北学院大学教育学科論集』第５号，43-50 紺野　祐他　(2019)「教育の原理　子供・学校・社会をみつめなおす」学術出版会，143-165 清多英羽　(2019)「教育哲学研究におけるフィヒテ教師論の現代的意義」，1-28 笹田博通他編　(2018)「考える道徳教育「道徳科」の授業づくり」福村出版，119-126
主な担当科目	「教育基礎論」「道徳教育の理論と方法」「教職実践演習（中・高）」

氏　　名	髙　橋　千　枝
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	本郷一夫・平川久美子・飯島典子・高橋千枝・相澤雅文　(2020)　児童期における「気になる」子どもの行動特徴と情動発達との関連　臨床発達心理実践研究　第15巻　第２号　68-76. 高橋千枝　(2018)　第10章　仲間関係・きょうだい関係の発達　野島一彦・繁桝算男監修　本郷一夫編『公認心理師の理論と実践12　発達心理学』遠見書房　33-146. 高橋千枝・谷田順子　(2016)　生活科における気付きを深めるプロセスと指導について――集団活動と教師の働きかけが児童の思考に与える影響――地域学論集（鳥取大学地域学部紀要）第13巻　第２号　79-85.
主な担当科目	「教育心理学」「生活概説」「初等教科教育法（生活）」

氏　　名	坪　田　益　美
所　　属	地域総合学部　地域コミュニティ学科
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	坪田益美　(2018)「多文化共生・ダイバーシティ社会に向けた見方・考え方の育成――『見えないマイノリティ』の人びとに焦点を当てて――」江口勇治監修・編著『21世紀に求められる「社会的な見方・考え方」』帝国書院，234-243頁. 坪田益美　(2018)「小学校における異文化間交流」村野井仁編著『小学校英語教育の基礎知識』大修館書店，222-231頁. 坪田益美　(2017)「社会科における持続可能な社会づくりに向けた社会認識の形成」井田仁康編著『教科教育におけるESDの実践と課題――地理・歴史・公民・社会科――』古今書院，167-183
主な担当科目	「社会・公民科教育法（概論・理論）」「社会・公民科教育法（応用）」 「教育実習Ⅰ・Ⅱ（社会）」「教育実習Ⅰ・Ⅱ（公民）」 「教育実習Ⅰ・Ⅱ（地理歴史）」「多文化・グローバル教育」 「シティズンシップ教育」

氏　　名	長　島　康　雄
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	長島康雄　(2023)　仙台市の景観形成に寄与する植物群落・植物相に関する検討　1．静気候区分に着目した地理情報資料による分析．仙台市科学館研究報告．第32号．pp. 55-63. 長島康雄　(2023)　Eco－DRRの視点からみた東日本大震災後の学校防災・減災――地震や津波という自然災害と向かい合うための学校施設・設備――．東北学院大学教育学研究所報告集．pp. 5-26．東北学院大学 長島康雄　(2022)　東日本大震災後の防災・減災に着目した学校経営における野外文化の果たす役割――仙台市を事例とした災害指標としての植物・植物群落――．野外文化教育学会紀要．第20号．pp. 33-46. 長島康雄・崔玉芬　(2021)　弘前市が進める小中一貫教育「教育自立圏構想」．関東学園大学リベラルアーツ．第30集．pp. 1-8 長島康雄　(2020)　新型コロナウイルス感染拡大をふまえた小学校・中学校理科カリキュラムへの「免疫」の位置づけに関する検討．日本科学教育学会年会論集．pp. 281-284．日本科学教育学会
主な担当科目	「初等教科教育法（理科）」「理科概説」「授業づくり実践Ⅱ」

氏　　名	萩　原　俊　彦
所　　属	人間科学部　心理行動科学科
学　　位	博士（心理学）
主な教育研究上の業績	萩原俊彦　令和４(2022)年　５章３節「キャリア教育（進路指導）」大家まゆみ・本田伊克（編）『これからの教職論――教職課程コアカリキュラム対応で基礎から学ぶ――』ナカニシヤ出版，75-83 萩原俊彦・畔田博文　令和元(2019)年　「高等専門学校１年生におけるキャリア意識と職業興味の関係」『キャリアデザイン研究』Vol.15，日本キャリアデザイン学会，209-215 萩原俊彦　平成29(2017)年　第７章「キャリア教育――自分らしい生き方を作り上げるために――」藤田哲也（監修），水野治久・本田真大・串崎真志（編著）『絶対役立つ教育相談――学校現場の今に向き合う――』ミネルヴァ書房，95-106 萩原俊彦　平成25(2013)年　第６章「児童期の社会性の発達」櫻井茂男・佐藤有耕（編）『スタンダード発達心理学（ライブラリスタンダード心理学＝７）』サイエンス社，123-137
主な担当科目	「教育心理学」「発達心理学」「教育・学校心理学」

氏　　名	坂　内　昌　徳
所　　属	教養学部　言語文化学科
学　　位	博士（情報科学）
主な教育研究上の業績	坂内昌徳．2018年．「日本語母語話者による英語の『除去』を表す動詞の習得過程について」東北学院大学教養学部論集　第181号（p. 19-35） Bannai, Masanori　平成27年(2015)．Locative alternation in the interlanguage of Japanese-speaking learners of English．人間情報学研究第20巻（p. 11-27），東北学院大学人間情報学研究所. 坂内昌徳．平成25年(2013)．英語多読のすすめ――第二言語習得から見たその効果――．東北学院大学英語英文学研究所紀要第38号（p. 21-36） Bannai, Masanori (2011). The nature of variable sensitivity to agreement violations in L2 English. *EUROSLA Yearbook 11*, (p. 115-137). John Benjamins Publishing Company.
主な担当科目	「英語科教育法（応用）」

氏　　名	平　野　幹　雄
所　　属	人間科学部　心理行動科学科
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	平野幹雄　（2022）　自閉スペクトラム症の理解と支援．下山晴彦ら編．障害者・障害児心理学．pp. 36–47．ミネルヴァ書房． 平野幹雄　（2020）　記憶・学習．内山　靖・藤井浩美・立石雅子編．リハベーシック心理学・臨床心理学．pp. 40–47．医歯薬出版． 平野幹雄　（2020）　被災地における多動性，衝動性の見られる子どもの理解と支援者支援．一般社団法人日本臨床発達心理士認定運営機構編．臨床発達心理士わかりやすい資格案内第４版．pp. 70–74．金子書房． 平野幹雄ら　（2012）「高機能自閉症及びアスペルガー症候群の子どもを対象とした，放課後支援を通じた社会性発達支援に関する実践的研究」『宮城教育大学特別支援教育総合研究センター紀要』，第７集，pp. 69–76．
主な担当科目	「教育心理学」「教育・学校心理学」 「介護体験実習」「特別支援教育論」

氏　　名	村野井　　仁
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	Ph.D in Linguistics
主な教育研究上の業績	村野井　仁　（2023）「教室第二言語習得研究と英語指導法――文法運用力を育てる指導過程の提案」大瀧綾乃他（編）『第二言語習得研究の科学３　人間の能力』くろしお出版，123–142 白畑知彦・冨田祐一・村野井　仁・若林茂則　（2019）『英語教育用語辞典第３版』，大修館書店 Muranoi, Hitoshi (2007). Output practice in the L2 Classroom. In R. DeKeyser (Ed.), *Practice in a second language: Perspectives from applied linguistics and cognitive psychology*. Cambridge University Press, 51–84 村野井　仁　（2006）『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』大修館書店
主な担当科目	「英語科教育法（概論）」「英語科教育法（理論）」「教育英文法Ⅰ・Ⅱ」

氏　　名	吉　村　富美子
所　　属	文学部　英文学科
学　　位	Master of Arts（Linguistics）
主な教育研究上の業績	吉村富美子.（2022）.「なぜアカデミックイングリッシュを学ぶべきなのか」『東北学院大学論集』105号，1-22. 吉村富美子.（2018）.「英語コミュニケーション能力の高め方」村野井仁編『コアカリキュラム準拠　小学校英語教育の基礎知識』（pp.127-136）. 東京：大修館書店. 吉村富美子.（2013）.『英文ライティングと引用の作法：盗用と言われないための英文指導』 Yoshimura, F.（2011）. A scaffolding English writing course for Japanese university students. *JACET Journal, 53*, 109-124
主な担当科目	「英語科教育法（概論）」「英語科教育法（理論）」「英語科教育法（実践）」 「Learning English as a Second Language Ⅰ・Ⅱ」 「Academic Writing Ⅲ・Ⅳ」

氏　　名	渡　部　友　子
所　　属	国際学部　国際教養学科
学　　位	Ph. D.（英語応用言語学）
主な教育研究上の業績	渡部友子　令和４(2022)年　「続・意味でつなぐ英文法：無機質な指導からの脱却を目指して」『東北学院大学教養学部論集』第190号，107-126. 渡部友子　令和３(2021)年「意味でつなぐ英文法：無機質な指導からの脱却を目指して」『東北学院大学教養学部論集』第187号，199-211. 渡部友子　平成30(2018)年　「第11章　英文法」村野井仁編著『コア・カリキュラム準拠　小学校英語教育の基礎知識』（大修館書店），161-175. 渡部友子　平成29(2017)年　「英語を英語に翻訳する：言語学習の手段としての言語内翻訳」『日本英語コミュニケーション学会紀要』第26巻１号，67-75. 渡部友子　平成29(2017)年　「中学校の英語教科書を批判的に見る：なぜ学びが深まらないのか」『東北学院大学教養学部論集』第178号，29-40.
主な担当科目	「英語科教育法（概論）」「英語科教育法（理論）」 「英語科教育法（実践）」

氏　　名	渡　辺　通　子
所　　属	文学部　教育学科
学　　位	博士（教育学）／ Ph. D（Education）
主な教育研究上の業績	渡辺通子　2023年　「近代学校成立以降の言語教育カリキュラムにおける話し言葉教育の変遷――1872年から1951年まで――」『東北学院大学教育学科論集』第59号．51-75. 渡辺通子　2022年　「言葉遣いの学習指導に関する研究の成果と展望」356-363. 全国大学国語教育学会『国語科教育学研究の成果と展望　Ⅲ』渓水社 渡辺通子　2020年　「西尾実のコミュニケーション教育論「健全な世論の形成」の方向性――話し言葉と文化の関係を中心に――」『東北学院大学教育学科論集』第２号．25-44. 渡辺通子　2019年　「東日本大震災と『命』をつなぐ単元学習――津波・TSUNAM」日本国語教育学会『月刊国語教育研究』第568号．4-9.
主な担当科目	「現代教職論」「教職実践演習（中・高）」「初等教科教育法（国語）」 「国語概説（書写を含む）」

【兼任（非常勤）】

氏　　名	安　倍　啓　司
所　　属	
学　　位	経済学士
主な教育研究上の業績	令和２年～　東北学院大学非常勤講師「特別活動の理論と方法」 平成28年～　山形県立米沢栄養大学非常勤講師「特別活動論」 平成28年～令和４年　東北福祉大学非常勤講師「特別活動の指導法Ａ」 平成27～29年　宮城県仙台市立八幡小学校長 平成24～26年　宮城県仙台市立田子小学校長 平成22～23年　宮城県仙台市立上杉山通小学校教頭
主な担当科目	「特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法」

氏　　名	石　井　裕　明
所　　属	
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	石井裕明・高橋信二（2025）「ジュニア競泳選手のレースペースに対する発育発達の影響」『東北学院大学人間科学部論集』巻１，45-48. 石井裕明（2018）「体育科の指導と課題」鈴木　隆　須賀一好　花屋道子編著『「主体的・対話的で深い学び」の教育』東北文教大学出版会，117-124 石井裕明（2018）「体の諸機能の発達と生活習慣の形成」大桃伸一　佐東　治　奥山優佳編著『幼児教育の探求』東北文教大学出版会，95-105 石井裕明（2012）「器械運動における技達成度と授業の志向性について」『東北文教大学・東北文教大学短期大学部　教育研究』第３号，東北文教大学・東北文教大学短期大学部，9-19
主な担当科目	「初等教科教育法（体育）」

氏　　名	市　川　　尚
所　　属	
学　　位	博士（学術）
主な教育研究上の業績	稲垣　忠（編著）（2022）　教育の方法と技術 Ver.2：ID と ICT でつくる主体的・対話的で深い学び，北大路書房，執筆担当：第４章，第８章 鈴木克明・美馬のゆり（編著）（2018）　学習設計マニュアル：「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン，北大路書房，執筆担当：第11章，第13章，第15章 市川　尚・根本淳子（編著）鈴木克明（監訳）（2016）　インストラクショナルデザインの道具箱101，北大路書房
主な担当科目	「教育の方法と技術」

氏　　名	大　沼　　透
所　　属	
学　　位	文学士
主な教育研究上の業績	平成29年～　　東北学院大学　教職課程センター・学習支援室 相談員（教職及び小学校全科担当） 平成27年～28年　宮城県栗原市立築館小学校（校長） 平成25年～26年　宮城県東部教育事務所　登米地域事務所（所長） 平成23年～24年　宮城県北部教育事務所・学事班長（管理主事） 平成22年　　宮城県北部教育事務所・指導班長（指導主事） 平成21年　　宮城県北部教育事務所　栗原地域事務所・副参事（指導主事） 平成19年～20年　宮城県栗原市立宮野小学校（校長） 平成16年～18年　宮城県教育庁義務教育課・課長補佐（指導主事）
主な担当科目	「生徒指導・進路指導の理論と方法」

氏　　名	大　沼　　博
所　　属	
学　　位	教育学士
主な教育研究上の業績	令和７年～　　東北学院大学非常勤講師 令和４年～５年　大崎市立古川第一小学校　校長 令和３年　　宮城県仙台教育事務所　所長 令和２年　　宮城県北部教育事務所　所長 令和元年　　宮城県東部教育事務所　副参事（管理主事） 平成29年～30年　丸森町立小齋小学校　校長 平成27年～28年　宮城県仙台教育事務所　次長（指導主事） 平成22年～24年　石巻市教育委員会　指導主事
主な担当科目	「特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法」

氏　　名	片　岡　悠　妃
所　　属	
学　　位	修士（体育学）
主な教育研究上の業績	片岡悠妃（2024）「続・私の考えるコーチング論：コーチから監督へ立場が変わって得た学び」コーチング学研究，75–78 片岡ほか（2022）「大学バレーボール授業における教師行動と学修成果の実践的研究：A大学におけるバレーボール授業を対象として」大学体育スポーツ学研究，61–72 片岡ほか（2019）「大学女子バレーボールチームの体力トレーニングにおけるコーチングの省察的実践」コーチング学研究，65–77. 片岡ほか（2019）「小学校体育の教材に関する考察――「体育概説（運動）」の実践から――」青山学院大学教育学会紀要「教育研究」，35–53.
主な担当科目	「保健体育科教育法（実践）」「保健体育科教育法（応用）」

氏　　名	河　合　規　仁
所　　属	
学　　位	修士（美術）
主な教育研究上の業績	河合規仁（2018）「幼児教育における粘土造形表現の現状と課題」 2018/03『東北文教大学東北文教大学短期大学部教育研究』８号　pp. 1-22 河合規仁（2014）「対話型鑑賞会（ギャラリートーク）の意義について」『東北文教大学東北文教大学短期大学部教育研究』第６号　pp. 1-5 河合規仁（2014）「保育の中で造形作品を鑑賞する意義について：保育者研修の試行」2014 『東北文教大学東北文教大学短期大学部紀要』第６号　pp. 17-27 河合規仁（2012）「臨床美術アートプログラムにおける「アナログ表現」の研究――「アナログ表現」における抽象的表現の効用――」『東北文教大学・東北文教大学短期大学部紀要』第２号　pp. 17-23
主な担当科目	「初等教科教育法（図画工作）」「図画工作概説」

氏　　名	木　下　和　彦
所　　属	
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	木下和彦（2024）「生成 AI は音楽科の創作活動をどう変えるか――ChatGPT・CREEVO を用いた大学での創作実践を通して――」宮城教育大学教職大学院紀要，５，pp. 23-36 木下和彦・中山由美（2023）「中学校音楽科での鑑賞活動における越境による学び」音楽教育学，52(2)，pp. 1-12 Kinoshita Kazuhiko, Akihiko Nakamura, Naomi Nakamura, Yuki Nanjo（2023）*J-POP Style Melody-making Using Pentatonic Scale*, INTERNATIONAL JOURNAL OF CREATIVITY IN MUSIC EDUCATION, (10), pp. 8-29
主な担当科目	「初等教科教育法（音楽）」「音楽概説」

氏　　名	熊　谷　礼　子
所　　属	
学　　位	教養学士
主な教育研究上の業績	令和４年４月～令和６年３月　仙台市立高森小学校長 令和２年３月～令和４年３月　仙台市立黒松小学校長 平成29年４月～令和２年３月　仙台市立栗生小学校長 平成25年４月～平成28年３月　仙台市教育センター　主任指導主事 平成19年４月～平成23年３月　仙台市教育局教育指導課　指導主事
主な担当科目	「初等教科教育法（英語）」

氏　　名	小　林　裕　介
所　　属	
学　　位	文学士
主な教育研究上の業績	平成30年～令和元年　宮城県仙台第一高等学校（校長） 平成28年～平成29年　宮城県総合教育センター（所長） 平成26年～平成27年　宮城県本吉響高等学校（校長） 平成23年～平成25年　宮城県仙台第二高等学校（教頭） 平成21年～平成22年　宮城県塩釜高等学校（教頭） 平成17年～平成20年　宮城県教育研修センター（指導主事）
主な担当科目	「社会・地理歴史科教育法（応用・実践）」

氏　　名	今　野　　隆
所　　属	
学　　位	文学士
主な教育研究上の業績	平成30年度～令和２年度　仙台市立長町中学校長 平成28年度～平成29年度　仙台市立松陵中学校長 平成26年度～平成27年度　仙台市教育局教育指導課主任指導主事 平成20年度～平成21年度　仙台市教育局教育指導課指導主事 平成15年度　仙台市教育センター　長期研修生 教育相談研究　「自己受容を促す教育相談の一試み」 小林英義編著　「もうひとつの学校――児童自立支援施設の子どもたちと教育保障」(2013) 第４章　現在の学校教育の実施状況　宮城県さわらび学園分を担当執筆
主な担当科目	「現代教職論」

氏　　名	佐　藤　邦　宏
所　　属	
学　　位	教育学士
主な教育研究上の業績	平成28年～平成30年　宮城県仙台市立第二中学校校長 平成24年～平成28年　宮城県仙台市立南小泉中学校校長 平成21年～平成24年　宮城県仙台市立田子中学校校長 佐藤邦宏・長島康雄（2021） 新型コロナウイルス感染症対策下の特別活動の在り方に関する検討．東北学院大学教育学科論集．第３号．29-54
主な担当科目	「特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法」

氏　　名	佐　藤　靖　泰
所　　属	
学　　位	教職修士（専門職）
主な教育研究上の業績	令和５年４月～現在　　文部科学省　学校DX戦略アドバイザー 令和３年４月～現在　　仙台白百合学園　学校改革アドバイザー 令和３年10月～令和５年３月　東北大学大学院情報科学研究科　客員研究員 平成30年４月～平成30年６月　宮城県教育庁義務教育課　主幹 平成29年４月～平成30年３月　宮城県総合教育センター研究開発班　主幹 稲垣　忠（編著）(2022)『教育の方法と技術Ver.2：IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房，第14章 佐藤靖泰ほか（2022）「LEAFシステム導入による小学校教師の授業設計・展開の変容に関する一検討」日本教育工学会研究報告集(4)，46-51 堀田龍也，稲垣　忠，安藤明伸，為田裕行，佐藤靖泰（2022）『学校アップデート＋(プラス)』さくら社，58-112 堀田龍也，稲垣　忠，安藤明伸，為田裕行，佐藤靖泰（2020）『学校アップデート～情報化に対応した整備のための手引き』さくら社，66-119 稲垣　忠（編著）(2019)『教育の方法と技術～主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン』北大路書房，第14章
主な担当科目	「教育の方法と技術」「ICT活用の理論と方法」

氏　　名	佐　藤　義　行
所　　属	
学　　位	経済学士
主な教育研究上の業績	令和３年～令和６年　仙台市立仙台商業高等学校長 宮城県高等学校商業教育研究会長 東北六県商業教育研究会長 全国商業高等学校長会常務理事 公益財団法人全国商業高等学校協会評議員 平成30年～令和２年　仙台市立仙台大志高等学校長 平成28年～平成29年　仙台市教育局学校教育部高校教育課長 平成26年～平成27年　仙台市教育局学校教育部高校教育課主幹 平成24年～平成25年　石巻市立女子商業高等学校教頭 平成22年～平成23年　仙台市教育局学校教育部高校教育課指導主事
主な担当科目	「商業科教育法（概論・理論）」「商業科教育法（実践・応用）」 「職業指導Ⅰ・Ⅱ」「工業系・機械系の職業指導」 「工学系・電気電子系の市区業指導」「教育実習Ⅰ（商業）」

氏　　名	白　鳥　智　之
所　　属	
学　　位	経済学士
主な教育研究上の業績	平成31年～　東北学院大学　教職課程センター・学習支援室 相談員（小学校全科担当） 平成28年～30年　宮城県栗原市立若柳小学校（校長） 平成26年～27年　栗原市教育委員会教育部（次長） 平成25年　宮城県総合教育センター・副参事（指導主事） 平成24年　宮城県教育研修センター・副参事（指導主事） 平成22年～23年　宮城県大崎市立大貫小学校（校長） 平成19年～21年　宮城県教育庁義務教育課・課長補佐（指導主事）
主な担当科目	「生徒指導・進路指導の理論と方法」

氏　　名	鈴　木　朝　二
所　　属	
学　　位	教育学士
主な教育研究上の業績	平成27年～平成28年　塩竈市立玉川中学校長 平成25年～平成26年　多賀城市立東豊中学校長 平成22年～平成24年　七ヶ浜町立七ヶ浜中学校長 平成19年～平成21年　登米市立石越中学校長 平成16年～平成18年　宮城県教育庁高校教育課課長補佐
主な担当科目	「現代教職論」「社会・公民科教育法（概論・理論）」 「社会・公民科教育法（実践）」「社会・公民科教育法（応用）」

氏　　名	鈴　木　　涉
所　　属	宮城教育大学
学　　位	PhD（University of Toronto, CANADA）
主な教育研究上の業績	大城　賢・鈴木　涉（2022）『イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて　外国語　中学校２年』東洋館出版 中村典生（監）　鈴木　涉・巽　徹・林　裕子・矢野　淳（2022）『コア・カリキュラム対応　小・中学校で英語を教えるための必携テキスト　改訂版』東京書籍 鈴木　涉・佐久間康之・寺澤孝文（2021）『外国語学習での暗示的・明示的知識の役割とは何か』大修館書店 Suzuki, W., & Storch, N. (2000). Languaging in language learning and teaching: A collection of empirical studies. John Benjamins.
主な担当科目	「英語科教育法（応用）」

氏　　名	曽　根　由美子
所　　属	
学　　位	家政学士
主な教育研究上の業績	令和３年～　　東北学院大学非常勤講師 平成28年～平成31年　仙台白百合女子大学非常勤講師「小学校家庭」 平成28年～平成30年　宮城学院女子大学非常勤講師「学校栄養教育指導論」
主な担当科目	「初等教科教育法（家庭）」 「授業づくり実践Ⅲ（家庭・道徳・総合的な学習）」

氏　　名	高　橋　智　男
所　　属	
学　　位	修士（学術）
主な教育研究上の業績	令和３年～令和４年　　角田市立北角田中学校長 平成30年～令和２年　　柴田町立槻木中学校長 平成28年～平成29年　　角田市立北郷小学校長 平成25年～平成27年　　宮城県総合教育センター・次長（指導主事） 平成22年～平成24年　　登米市立南方小学校（教頭）
主な担当科目	「社会・公民科教育法（応用）」 「社会・地理歴史科教育法（実践）」

氏　　名	寺　本　淳　志
所　　属	宮城教育大学　教育学部
学　　位	修士（心身障害学）
主な教育研究上の業績	寺本淳志（2017）　重篤な運動障害を有する先天性筋疾患児へのスイッチ操作を介したコミュニケーション支援の展開過程，宮城教育大学特別支援教育総合研究センター研究紀要，12，71-80. 寺本淳志（2015）　重症心身障碍児の初期の操作行動の獲得に関する実践研究――姿勢及び目と手の使い方に着目して――，宮城教育大学特別支援教育総合研究センター研究紀要，10，63-73. 寺本淳志・川間健之介・進　一鷹（2011）　重度・重複障害者の意思表出を促す取り組み――スイッチ操作の向上と意思表出行動の促進，特殊教育学研究，48，371-382.
主な担当科目	「特別支援教育論」

氏　　名	中　村　　修
所　　属	東北福祉大学　総合福祉学部
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	中村　修他（2024）「第12章　進路指導の理論と方法」長谷川啓三他編著『事例に学ぶ　生徒指導・進路指導・教育相談　中学校・高等学校編（第４版)』遠見書房，171-188 中村　修（2019）「第４部第２章　人の健康と心理学の役割」木村　進他編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学　改訂版』八千代出版，184-205 中村　修（2013)「先生だって大変だ」沼山　博他編著『新訂　子どもとかかわる人のための心理学――発達心理学，保育の心理学への扉』萌林書林，207-210
主な担当科目	「生徒指導・進路指導の理論と方法」 「生徒指導・進路指導の理論と方法（初等教育)」

氏　　名	中　村　好　則
所　　属	
学　　位	博士（学校教育学）
主な教育研究上の業績	中村好則（2024）　高校における数学学習に支援が必要な生徒のメタ認知に関する研究――テスト調査と質問紙調査の結果の分析を通して――，岩手大学教育学部研究年報第83巻，pp. 69-82. 中村好則ほか（2023）　中学校数学科における統計指導でのICT活用の有効性と課題――統計的問題解決のプロセスを重視した授業実践を通して――，数学教育学会誌，Vol. 64，No. １・２，pp. 59-70. 中村好則ほか（2023）　１人１台端末時代の算数・数学指導におけるICT活用の可能性と課題――児童・生徒への質問紙調査の分析を通して――，岩手大学教育学部研究年報第82巻，pp. 65-76. 中村好則（2021）　高校の数学指導における文系と理系の生徒の現状と課題――テスト調査とアンケート調査の分析を通して――，数学教育学会誌，Vol.61，No.３・４，pp. 53-66.
主な担当科目	「数学科教育法（理論)」「数学科教育法（概論)」「数学科教育法（実践)」

氏　　名	萩　野　元　彦
所　　属	
学　　位	工学士
主な教育研究上の業績	平成28（2016）年４月１日～平成30（2018）年３月31日 宮城県古川工業高等学校　校長 平成25（2013）年４月１日～平成28（2016）年３月31日 宮城県工業高等学校　教頭 平成23（2011）年４月１日～平成25（2013）年３月31日 宮城県古川工業高等学校　教頭
主な担当科目	「工業科教育法（概論・理論）」「工業科教育法（実践・応用）」 「工業技術概論」「教育実習Ⅰ（工業）」

氏　　名	花　園　隼　人
所　　属	
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	花園隼人（2025）『数学の美しさを反映させた算数・数学教育の展開』東洋館出版社. 花園隼人（2025）「教材研究の視点」西村圭一・長尾篤志・小林　廉・成田慎之介編著『高等学校数学科探究ベースの数学授業づくり――生徒に残る学びの実現を目指して――』東洋館出版社，136-142 花園隼人（2025）「形式的証明の美的性質を視点とした数学科カリキュラム分析：推論の方向の統一性に焦点をあてて」『東北数学教育学会誌』56，13-21. Shimizu, Y., Funahashi, Y., Hanazono, H., & Murata, S.（2021）The evolving nature of the Japanese Lexicon in a tradition of lesson study. In C. Mesiti et al.（Eds.), Teachers talking about their classrooms: learning from the professional lexicons of mathematics teachers around the world. Routledge. 255-266.
主な担当科目	「数学科教育法（理論）」「数学科教育法（実践）」

氏　　名	早　川　典　子
所　　属	
学　　位	社会学士
主な教育研究上の業績	宮城県総合教育センター　心理相談員 仙台市スクールカウンセラー・スーパーヴァイザー 宮城県仙台教育事務所専門カウンセラー
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」

氏　　名	水　田　恵　三
所　　属	
学　　位	修士（文学）
主な教育研究上の業績	水田恵三（2016）　災害後のフィールドワークは復興に貢献できるのか 　　安藤　清・松井　豊編　地域と職場で支える被災地支援　誠信書房 水田恵三（2004）不登校を考える　川島一夫・勝倉孝治　編著 　　臨床心理学から見た生活指導・教育相談　おうふう　pp104-130 1983年～1989年　法務省山形少年鑑別所法務教官兼技官 2013年～現在　　仙台市学校生活支援巡回指導員 2021年　　公認心理師資格取得
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」

氏　　名	三　宅　真優子
所　　属	
学　　位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	三宅真優子（2023）「教育における価値観形成について――道徳教育と新科目「公共」の関係から――」『教育思想』第50巻，39-60 盛下真優子，佐藤　恵（2021）「民衆における人間形成と公教育への移行――イギリスの民衆文化とデイム・スクールに着目して――」『東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部紀要』第51巻，121-130 紺野　祐，盛下真優子（2021）「道徳教育における「価値」と「価値観」について⑴「価値」「価値観」の概念の混乱を解く」『東北学院大学教育学科論集』第３号，13-28 盛下真優子（2020）「教育者が基盤とする教育観の考察」『東北生活文化大学　東北生活文化大学短期大学部　教職センター報』第４巻，113-120
主な担当科目	「教育課程論」

氏　　名	吉　田　　剛
所　　属	宮城教育大学
学　　位	博士（学校教育学）
主な教育研究上の業績	吉田　剛　2024年：幼小中高一貫地理教育カリキュラムにおける持続可能性の概念とウェルビーイング．宮城教育大学紀要，第58巻，pp. 141-157. 原田智仁・吉田　剛ほか共著　2023年：『社会科教育のルネサンス　実践知を求めて［第３版］』教育情報出版 吉田　剛・山口美空　2020年：香港中学校歴史カリキュラム2016年試案の方向　我が国の中学校社会科歴史カリキュラム2017年版への示唆．宮城教育大学教員キャリア研究機構，研究紀要　第２巻，pp. 71-82.
主な担当科目	「社会・地理歴史科教育法（概論・理論）」「社会・地理歴史科教育法（応用）」「社会・地理歴史科教育法（実践）」

氏　　名	吉　田　　実
所　　属	
学　　位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	吉田　実（2023）「ヒュームの『人間本性論』第１巻における education 概念について」『教育思想』第51巻，61–76 吉田　実（2024）「道徳教育をめぐる循環の問題――ヒュームの道徳論における education 概念について――」『教育思想』第52号，49–65 吉田　実（2025）「ヒューム『自然宗教をめぐる対話』における宗教教育について」東北学院大学人間情報学研究科『人間情報学研究科年誌』第30巻，181–188
主な担当科目	「教育基礎論」